

第 37 回宮城県女子駅伝競走大会 新型コロナウイルス対策について

宮城陸上競技協会

大会主催者は以下に示すガイドラインに沿った運営を致します。つきましては、参加者の皆様にはガイドラインをご確認いただき、ご協力くださいますようお願い致します。

なお、参加申込を提出した段階で、本ガイドラインに同意していただいたものと判断させていただきます。

【大会中止の基準】

- 1 宮城県内に緊急事態宣言が発令された場合。
 - (1) 不要不急の外出自粛が要請された場合。
 - (2) 都道府県をまたぐ移動の自粛が要請された場合。
 - (3) 店舗営業において自粛が要請された場合。
 - (4) 学校において部活動が認められない場合。
- 2 開催地においてイベントの開催が認められない場合。
- 3 その他、新型コロナウイルス感染に関連して不測の事態が生じた場合。

【大会中止の場合の返金】

上記の事情により大会中止が余儀なくされた場合も、大会準備に経費が発生していることから、参加料については返金しない。

【参加資格】

以下のいずれかに該当する選手、チーム関係者（監督、スタッフ、応援部員）は参加を自粛すること。

- 1 新型コロナウイルス感染症の身体症状が確認された場合や体調が良くない場合。
(例：37.5℃を超える発熱、倦怠感や関節痛、咳、咽頭痛、臭覚、味覚異常など)
- 2 同居家族や身近な知人に感染症が疑われている場合。
- 3 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者と濃厚接触がある場合。
- 4 保健所、または新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）より、陽性者との接触可能性が通知された場合。
- 5 感染症に対して不安がある場合。

【体調管理】

<選手、チーム関係者>

- 1 大会1週間前から大会当日まで、毎日検温と体調管理を義務づける。管理結果は、本協会指定書式にまとめ、大会当日受付時に提出する。
- 2 大会終了後2週間は、毎日検温と体調管理を義務づける。管理結果は、本協会指定書式にまとめておき、新型コロナウイルス感染症症状が発症した場合は、書式と共に大会事務局に届け出る事（名取市陸上競技協会）。

【会場における感染症対策】

- 1 沿道におけるチーム関係者以外の応援については自粛を要請する。
- 2 名取市サイクルスポーツセンターの入場について、記録室、選手審判控室への入室は、選手、競技役員、補助員のみとする。
- 3 控室内や中継所等、各所に手指除菌剤を設置する。
- 4 大会関係者のマスク着用を義務づける。
- 5 医務係には、看護師を配置する。

【一般応援について】

感染防止対策のため、サイクルセンター沿道における応援については拍手のみとする。

会場への立ち入りができるのは大会役員、競技役員、選手、チームの関係者（監督、スタッフ、応援部員、選手移動の運転者）のみとし、一般の応援者は入場できない。

なお、競技中の走路は進入禁止とするので決められた車両以外は走行できない。

【個人情報の取り扱い】

- 1 本大会で取得した個人情報は、競技運営目的以外に感染症予防対策目的に使用する可能性がある。
- 2 本大会で取得した情報は、大会主催者が保健所や医療機関などの第三者へ情報を提供する場合がある。
- 3 本大会で取得した個人情報は、大会終了後1ヶ月間保管する。
- 4 保管期間を過ぎた当該情報は、大会主催者が責任を持って適正かつ速やかに廃棄する。

【免責事項】

大会主催者は出場選手、出場チーム関係者、競技運営関係者の感染に対するいかなる責任も負わない。